



BENEFIT JAPAN

2022年3月期 第1四半期決算説明資料 (2021年4月1日～2021年6月30日)

株式会社ベネフィットジャパン

(証券コード：3934)

連結損益計算書

- 回線数増加によりストック売上高が安定的に伸長し、連結売上高は前期比37.6%増
- 人員増加等の新規獲得コスト増を吸収し、連結経常利益は同11.0%増

(百万円)

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前期比 増減
売上高	2,048	100.0%	2,818	100.0%	+37.6%	+769
売上原価	864	42.2%	1,239	44.0%	+43.4%	+375
売上総利益	1,184	57.8%	1,578	56.0%	+33.3%	+394
販管費	868	42.4%	1,230	43.6%	+41.6%	+361
営業利益	315	15.4%	348	12.4%	+10.4%	+32
経常利益	315	15.4%	350	12.4%	+11.0%	+34
親会社株主に帰属する 当期純利益	207	10.1%	231	8.2%	+11.6%	+24

セグメント別業績

(百万円)

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	増減率	増減額
売上高	2,048.7	2,818.4	+37.6%	+769.6
モバイルWi-Fi	1,705.4	2,261.2	+32.6%	+555.7
ロボット	177.5	416.2	+134.5%	+238.7
その他	165.7	140.9	△15.0%	△24.8
営業利益	315.7	348.5	+10.4%	+32.7
モバイルWi-Fi	392.6	518.6	+32.1%	+125.9
ロボット	0.9	△90.1	—	△91.0
その他	31.2	26.6	△14.7%	△4.6
全社費用	△109.0	△106.6	—	+2.4

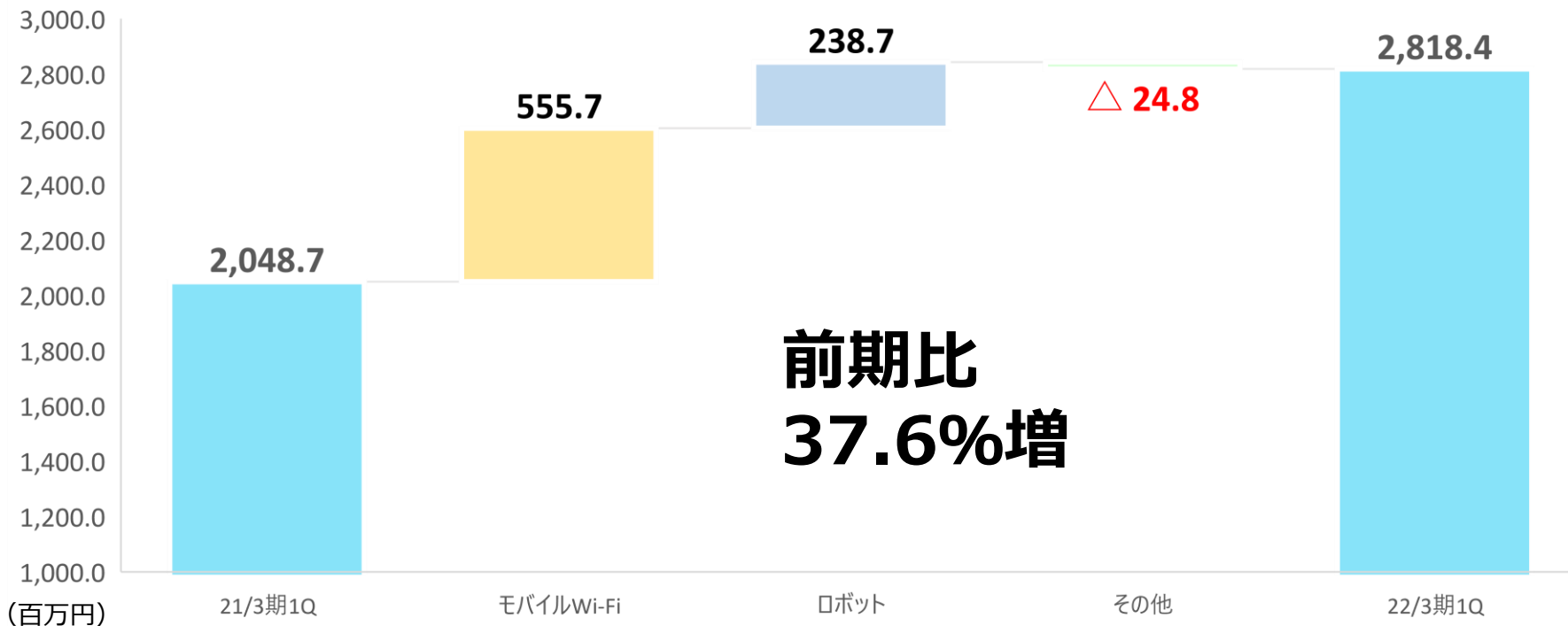
セグメント別売上高増減分析

●モバイルWi-Fi事業

保有件数増加に伴うストック売上高増（+393百万円）、レンタル利用増加に伴う売上高増（+118百万円）、端末販売等の売上高増（+43百万円）

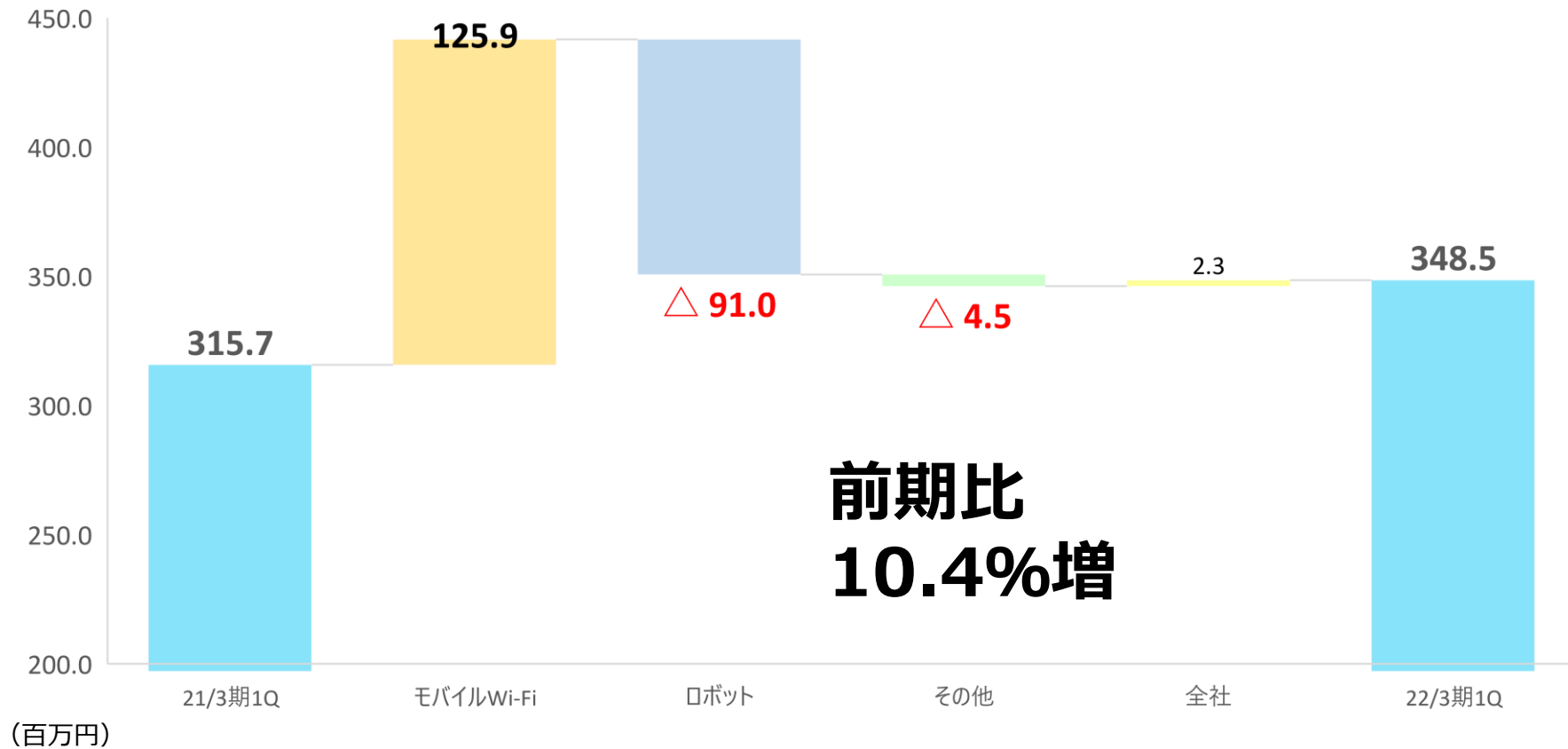
●ロボット事業

端末販売等の売上高増（+203百万円）、保有件数増加に伴うストック売上高増（+35百万円）



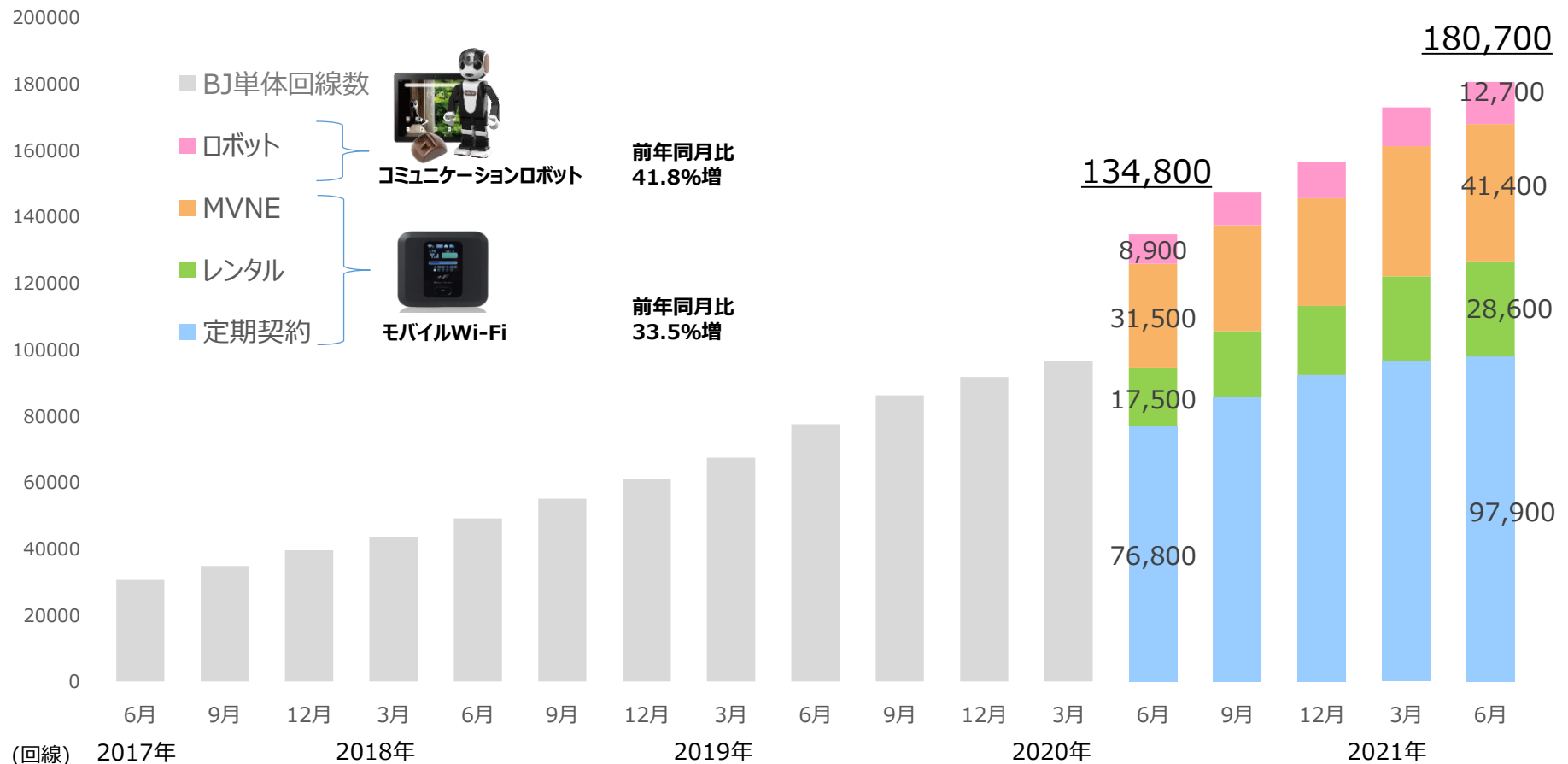
セグメント別営業利益増減分析

- モバイルWi-Fi事業 回線数は堅調に推移し、増益要因として寄与
- ロボット事業 回線数増加に向けた先行投資費用による減益要因



回線数の推移

● 回線数は前年同月比34.0%増



※ 2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の回線数
 2020年6月以降は、ベネフィットジャパングループの回線数（区分）

連結貸借対照表

(百万円)

	21年3月期 第4四半期	22年3月期 第1四半期
流動資産	7,240	8,015
固定資産	976	672
資産合計	8,216	8,688
負債	3,331	3,395
有利子負債	2,012	1,997
純資産	4,885	5,292
負債・純資産合計	8,216	8,688

22年3月期の連結業績予想に対する進捗

- 業績予想に対する第1四半期の進捗は順調に推移

(百万円)

	22年3月期		
	通期計画	第1四半期	進捗率
売上高	12,059	2,818	23.4%
営業利益	1,505	348	23.2%
経常利益	1,519	350	23.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	997	231	23.2%

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!

笑顔でつなぐ、

みんなの未来

BENEFIT JAPAN